

株式会社ムラタ溶研

溶接の自動化で、世界の
ものづくり技術向上に貢献

薄板材自動溶接装置「フープウェルダー」



タングステン研磨機

オンリー
ワン技術業務
内容

誰もが簡単に、溶接の
工程に携われるように

自動溶接装置とタングステン研磨機
の開発・製造会社として、創業以来
数々のオンリーワン製品を生み出して
きた。獨創性を大切にし、設計や部品
加工から機械の製造まで一貫した生産
体制を持つ。熟練技術者にしかできな
かった溶接を、誰もが簡単に、そして
安全にできるようにしたい。そんな思
いが込められた自動溶接装置は、国内
メーカーに留まらず海外でも多く使わ
れており、世界屈指のシェアを誇る。
また、TIG（タングステン不活性ガ
ス）溶接向けトーチには、より効率的
で高品質なTIG溶接を実現するための
オリジナル技術が多く搭載されている。

強み
オリジナルの
自動溶接装置を開発

「売りに行くのではなく、買いに来て
もらう製品を作る」という理念のもと、
村田彰久会長は開発と研究に取り組み
続けている。「世界中で使われる装置
を作るためには、独自のアイデアを形
にしてオリジナル製品を作らなければ
ならない」と力を込める。設計から最
終的な装置完成までの工程を自社で取
り組み把握する姿勢が、他の追随を許
さない自動溶接装置開発につながって
いる。装置の開発により、ものづくり
現場の効率化と溶接品質向上にも貢献
している。あらゆる産業のメーカーが
ムラタ溶研の機械を導入し、その70%
を上場企業が占めるという。リピー
ターが50%を越えていることから、
機械の性能の高さがうかがえる。

探求心
理論に基づいた
ものづくりを実践

村田会長は「常に探求心を持つこと、
そして理論に基づいたものづくりが大
切」というものづくりに対する考えを
もっている。例えば、平成23年に開発し
た狭窄ノズル^{きょうさく}。電極棒の周りに狭窄ノ
ズルを取り付けることでアークプラズ
マの直進性やエネルギー密度を高め、
TIG溶接法の精度を向上させられる。
大阪大学接合科学研究所と共同で、狭窄
ノズルの有効性やノズル形状と溶接効
率との関連性などの検証・解析にも取り
組む。自社工場内には基礎研究室も設置
した。探求心を持つてものづくりに臨む
ことで良い製品が生まれ、顧客からの
信頼獲得にもつながっている。

今後の
展望
何よりも大切なのは、顧客の
ニーズを知っておくこと

何か特別なことに着手しようという
展望は持っていない。村田会長が重き
を置くのは、いい製品作りを常に意識
し、装置の完成度をより高めていくこ
とだ。「その方針に沿って仕事を続け
ていけば、会社は必ず成長していく」
と確信をもって語る。あらゆる業界の
市場動向にアンテナを張っておくこと
が大切。顧客のニーズに耳を傾け、幅
広い視野と対応力
を持ちながら仕事
を続けること。良
い製品作りを基盤
とすることで、会
社成長につながる
サイクルは必然的
に構築される。



本社ビル

COMPANY PROFILE

株式会社ムラタ溶研

GINT
25当社の
歴史

昭和59年、「溶接自動化に貢献する装置の開発」にニーズが
あると手応えを感じ、村田彰久会長が35歳のときに設立しま
した。世界にまだないオリジナル製品を世に送り出すため、
研究と開発に取り組み続けてきました。自動溶接装置の世界的
リーディングカンパニーとして、ものづくりの基盤となる溶接の
効率化と品質向上に貢献しています。

「誰でも」「簡単に」「高品質溶接」をテーマに自動溶接装置を
開発し、日本と世界のものづくり技術向上に貢献しています。

会長兼代表取締役 村田 彰久さん



■主な事業内容

タングステン研磨機、自動
溶接機、研削ホイールの
各種研究開発および製
造・販売

■主な取引先（納入先）

機械メーカー、自動車メー
カー、鉄鋼メーカーなど

住 所／〒532-0012
大阪市淀川区
木川東4-6-11
T E L／06-6390-6768
F A X／06-6390-8474
創 業／昭和59年5月
設 立／昭和59年5月
資本金／5,000万円
従業員／11名

<http://www.mwl.co.jp/>